

平成28年度 事業報告

事業の概要

本年度の事業の概要は次の通りであります。

1、研究助成（公募）

公衆衛生の向上及び生活環境の保全を促進させる。
研究や活動を行っている個人又は団体に対し助成金を支給
今年度は下記2テーマに関連する研究を助成対象としました。

① 「感染症媒介動物及び外来生物の研究等」

- ・ 募集期間 4月～12月
- ・ 応募件数 29件
- ・ 助成支給件数 20件 （100万円/件）

「ウイルス感染による節足動物RNA依存症RNAポリメラーゼの両義性の解明」

北海道大学 准教授 好井 健太郎

「重症熱性血小板減少群ウイルスの病原因子NSsとマダニ因子間の相互作用」

広島大学 助教 小田 康祐

「植物乳酸菌の産生する殺害虫タンパク質および抗カビ物質の基礎研究とその応用」

広島大学 名誉教授 杉山 政則

「つつが虫病の媒介ダニ・ツツガムシにおいてリケッチアの持続観戦を阻害する因子の探索」

国立感染症研究所 主任研究官 小川 基彦

「ツマアカスズメバチをはじめとするスズメバチ類の科学的防除手法の開発」

国立環境研究所 特別研究員 岸 茂樹

「首都圏における節足動物媒介性人獣共通感染症の浸淫調査」

東京大学 助教 堀田 こずえ

「マダニのセンサー機能分子の探索」

自治医科大学 教授 加藤 大智

「ハマダラカとマラリア原虫における宿主・寄生体適応性の分子機構解明」	順天堂大学 准教授 平井 誠
「国内の蚊媒介性感染症媒介蚊の現状調査ならびに国外からの媒介蚊の移入・定着状況調査」	国立感染症研究所 主任研究官 前川 芳秀
「マダニが保有する原虫叢の網羅的解析」	北海道大学 准教授 仲尾 亮
「蚊媒介感染症予防のための殺幼虫活性を指標とした先導化合物の探索」	広島大学 准教授 杉本 幸子
「熊本地震の被災地及び観光地における疾病媒介蚊の地理学的研究」	熊本大学 准教授 米島 万有子
「SFTSウイルスを含むダニ媒介性病原体の歩哨動物を用いた分布調査と遺伝子解析」	宮崎大学 特任助教 桐野 有美
「ヒトスジシマカのNa ⁺ チャンネル異変 (kdr) による殺虫剤抵抗性獲得メカニズム」	神戸常磐大学 教授 鈴木 高史
「自然界でのシカシラミバエが維持・伝播に関わる病原体種の解析」	国立感染症研究所 主任研究官 藤田 修
「外来種クビアカツヤマミキリを「におい」で誘き寄せる」	千葉大学 教授 中牟田 潔
「訪花昆虫類における病原体Nosema属微胞子の随伴感染実態の解明」	岐阜大学 教授 槌田 浩治
「外来動物の科学的防除に関する効果的な情報提供方法の検討」	東京農工大学 講師 赤坂 宗光
「アカイエカ種群ゲノム染色体地図の構築」	国立感染症研究所 流動研究員 糸川 健太郎

「蚊媒介性感染症の対策に向けた効率的な病原体検出法の開発」	
北海道大学 博士研究員 林田 京子	
② 「食品加工・調理における危害微生物の研究等」	
・ 募集期間	4月～12月
・ 応募件数	10件
・ 助成支給件数	7件 (100万円/件)
「プラズマ技術を用いたノロウィルス汚染に対する制御法に関する研究」	
琉球大学 准教授 作道 章一	
「おにぎりの細菌汚染状況および黄色ブドウ球菌のおにぎり中における菌数・毒素生成の経時的変化」	
東京家政大学 講師 古茂田 恵美子	
「食中毒菌の毒素生産を阻害するプロバイオテックスの探索」	
広島大学 特任准教授 能田 正文	
「麹菌が産生する高度熱耐性抗菌物質の構造機能及びその利用」	
広島大学 特任助教 ナンラダイ ダンシーツウオーダロ	
「牛肉のドライエージングに關与する微生物の網羅的解析」	
関西大学 助教 細見 亮太	
「水産発酵食品の初期腐敗菌叢の解析と異常発酵防止のための微生物制御技術の確立」	
石川県立大学 准教授 小柳 喬	
「水産物中の細菌叢のメタゲノム解析により腐敗の進行要因を特定する試み」	
日本大学 助手 京井 大輔	